

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、
平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

【沖縄県名護市議選】基地移設反対の稲嶺市長支持派が圧勝！

9月12日、米海兵隊の新基地建設が予定される沖縄県名護市の市議会選挙で、基地移設反対を掲げる稲嶺市長支持派が過半数を獲得しました。27議席中16議席を市長支持派が占めるという圧勝です。市長反対派は議席数を減らして11議席となり惨敗しました。市長反対派にも基地移設には反対という議員が何人か含まれていると言われていました。稲嶺市長はこれを受けて「海にも陸にも新しい基地は造らせないということを市民は示した。...堂々と自信を持って言える環境ができた」と発言しました。

しかしまたもや政府はこの選挙結果の意義を低める宣伝を行っています。北澤防衛相は「既定路線は変わらない」と発言し、菅首相は「民意の一つだ」に貶めて^{おとし}ています。民主主義を踏みにじる全く許し難い暴言です。

昨年11月8日の2万人超の沖縄県民大会を皮切りに、今年1月の名護市長選では基地反対派の稲嶺進市長が誕生し、2月には沖縄県議会で全会一致の「国外・県外移設を求める」意見書採択、4月25日には読谷村で9万人集会が開催され、そして5月16日には人間の鎖で普天間を包囲しました。沖縄の民意は十分に示されています。米軍基地を沖縄に押し付けるという「既定路線」を根本的に転換すべきです。

「普天間基地の無条件返還と辺野古・徳之島への移設断念を求める署名」活動



8月末と9月初めに街頭署名をおこないました。菅首相になってからマスメディアでは米軍基地問題の扱いが小さくなりましたが、特に中高生や若い人がたくさん署名をしてくれました。沖縄に修学旅行に行くと考えが変わったと話してくれた人もいました。今後も続けていきます！



目次

頁1 表紙

頁1~2 沖縄名護市議選 基地移設反対派が圧勝！

頁3 朝鮮学校無償化実現までもう一押し

頁4~6 長崎の被爆者山科和子さんのお話を聞く

頁6~9 番組紹介：「封印された原爆報告書」他 / 「英霊か犬死にか」

頁10 リブ・イン・ピース@キネマ 第3回映画「風音」

頁11 フォトグラファー山本英夫さん写真展・交流会 / 女性二人の韓国旅行

頁12 今後の予定 / 4コマまんが / 編集後記

